

# 若杉祭をオンラインで開催!

## 特設サイトにて動画コンテンツを無料配信 イベント動画は宮代キャンパスで撮影

オンライン若杉祭 収録LIVE配信

### 幾田りら

"YOASOBI"のボーカル"ikura"として、  
セッションユニット「ぶらそにか」のメンバーとして活躍中の  
シンガーソングライター「幾田りら」さんの  
限定ワンマン収録LIVEを配信!

Lilas Ikuta

配信時間は特設サイトでご確認ください

11  
14



<https://juken.nit.ac.jp/wakasugi/>

オンライン若杉祭 TALKSHOW

### 山北早紀 若井友希 澁谷梓希

人気声優ユニットi☆Risメンバーより3人が登場!  
ここだけの話が聞けるかも...

配信時間は特設サイトでご確認ください

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、若杉祭の通常開催中止が決定。それに代わり11月14日、「オンライン若杉祭」がネット配信形式で開催される。

有名アーティストの収録ライブ配信、人気声優ユニットのメンバーによるトークショーを始め、多彩なコンテンツが特設サイトを通じて配信され、学内外を問わず、だれでも無料で視聴できる。

大学の大学祭「若杉祭」は今年で52回目の開催となる。学生主体で運営され、大学設立当初から続く主要行事の一つである。

本学では現在の社会状況を鑑み、キャンパスを会場とする従来形式の若杉祭開催は困難であると判断した。しかしながら、半世紀にわたり先輩から受け継がれてきた伝統を絶やしたくないとの思いを受け、学生たちの想いを受け、今年度は大学が協力することにより、オンラインによる開催が実現することとなった。

開催形式としては「オンライン若杉祭特設サイト」がネット上に開設され、事前収録された各イベント動画が期間限定で配信される。学生自治会に所属する中央執行委員会が声優トークショー、同大学祭実行委員会、大

学事務局の学生支援課、企画広報室がアーティストによる収録ライブ配信の企画を提案。配信時間帯の調整や運営、宣伝方法などについて連日協議が重ねられた。20名以上の学生が参加し各イベントの司会、撮影機材搬入、撮影中の警備などに従事した。

秋学期以降も自宅で遠隔授業を受け、友達や教員と接する機会を失い、

未だに孤独な大学生活を過ごしている学生は少なくない。また、来場型オンラインキャンパスの中止により、本学を訪れる高

校生も例年より減少している。こうした状況を考慮し、大学生の雰囲気や生活の

活の雰囲気や生活の

でも伝えることができ

るよう、イベントは全て宮代キャンパス内において撮影された。

配信動画の閲覧など、オンライン若杉祭に関するすべてのコンテンツは特設サイトに掲載されており、開催期間中は学内

特設サイト(内容・デザインは変更になる場合があります)



外の誰でも無料で視聴可能である。

特設サイトにはこのメインイベントのほか、宮代キャンパス紹介、学生サークル紹介ページへのリンク、各学科研究室による研究紹介、学生・教職員が作品を発表する

「オンライン秀麗展」など、多彩なコンテンツが掲載される予定である。

開催日当日は左記のURLもしくはQRコードから特設サイトにアクセスし、これまでとは違った若杉祭を体験していただきたい。

### 日本工業大学 2021年度入試日程

【基幹工学部】 機械工学科・電気電子通信工学科・応用化学科 【先進工学部】 ロボティクス学科・情報メディア工学科  
【建築学部】 建築学科(建築コース/生活環境デザインコース)

入試種別	日程
一般選抜入試	出願期間 1/8(金)~1/22(金) web受付開始12/18(金)
	試験日 1/29(金) 本学・東京・郡山・高崎・柏・横浜・長野・名古屋 1/30(土) 本学・東京・水戸・宇都宮・千葉・静岡 1/31(日) 本学・東京・仙台・新潟
	合格発表日 2/1(月) 本学・東京 2/9(火) 3/2(火)
一般選抜入試 英語外部試験利用	出願期間 2/6(土)~2/17(水) web受付開始1/30(土)
	試験日と試験会場 2/23(火) 本学・東京 合格発表日 3/2(火)
共通テスト利用入試	出願期間 共通テスト利用入試A 1/8(金)~2/4(木) web受付開始12/18(金)
	共通テスト利用入試B 2/6(土)~2/19(金) web受付開始1/30(土)
	共通テスト利用入試C 2/22(月)~3/11(木) web受付開始2/15(月)
3月入試	出願期間 1/16(土)~1/17(日) 1/30(土)~1/31(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません
	合格発表日 2/13(土) 3/2(火) 3/18(木)
総合型選抜入試	出願期間 3/1(月)~3/11(木) web受付開始2/22(月)
	試験日と試験会場 3/13(土) 本学
	合格発表日 3/18(木)
	第2期 11/17(火)~12/1(火) web受付開始11/10(火) 第3期 2/15(月)~3/1(月) web受付開始2/8(月) 1次審査結果通知 12/10(木) 2次審査日と試験会場 12/19(土) 本学 合格発表日 12/25(金) 3/13(土) 本学 3/18(木)

※ 全ての入試において、インターネットからの出願です。  
本学HPからアクセスしてください。

【皆さんのチャレンジを待っています。一般推薦入試(公募制)、専門高校入試(B工業科)】

<第1期>  
出願期間: 11/2(月)~11/16(月)  
web受付開始日: 10/26(月)

試験日と試験会場: 11/21(土) 本学  
合格発表日: 12/1(火)

<第2期>  
出願期間: 12/1(火)~12/11(金)  
web受付開始日: 11/24(火)

試験日と試験会場: 12/19(土) 本学  
合格発表日: 12/25(金)

\*各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

お問い合わせ先 入試室 電話: 0120-250-267

### 本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集  
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

#### ◆大学院工学研究科

- 博士前期課程・博士後期課程
- \*環境共生システム学専攻
- \*機械システム工学専攻
- \*電子情報メディア工学専攻
- \*建築デザイン学専攻

#### ■2021年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

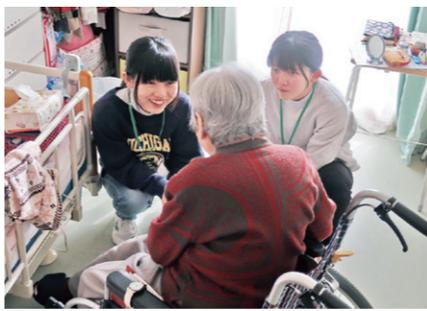
二次募集	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
2021年2月10日 ~2月17日	2月24日	3月5日	2021年 3月10日	

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係  
TEL 0480-33-7507 URL <https://www.nit.ac.jp>

# 地域社会との連携拡充に向けて

## 人と暮らしの支援工学センター 理工学教育(STEM)センター 地域連携センター

本学は7月1日、「人と暮らしの支援工学センター」と理工学教育(STEM)センターを新設した。既存の「地域連携センター」「産学連携起業教育センター」と新設の2センターの連携により、学生が専門力を社会に活かす経験の場を提供し、また本学の技術や教育・研究成果をより社会の課題解決等に役立てられる体制となった。特に「人と暮らしの支援工学センター」「理工学教育(STEM)センター」「地域連携センター」の3センターは、



ケア空間体験実習(人と暮らしの支援工学センター)



化学・環境・バイオサイエンススクール(理工学教育センター)



春日部市催事でプロジェクションマッピング(地域連携センター)

成を目的に設立された。高齢者や障がい者等の社会的弱者の生活支援をはじめ、多様な人々が暮らししていく上で発生する様々なニーズに工学的アプローチで支援するための教育研究を推進し、幅広い社会貢献活動と、学生が専門力を社会に生かす経験の場を提供する。

■理工学教育(STEM)センター(佐藤杉弥センター長)

本学ではこれまで工業大学としての立場から、理工学教育を中心に地域

の小・中・高校生等将来の日本を支える子どもたちを育てようと、親子もつくり教室や小学校理科教育支援活動等様々な活動に取り組んできた。今後は当センターが中心となり、より一層、地域の小学校・中学校・高等学校・保護者の方々や他大学等とも連携しながら理工学教育(STEM教育)を推進していく。

■地域連携センター(佐々木誠センター長)

本学では地域の自治体(宮代町、春日部市、杉戸町、幸手市)と包括的連携協定を締結し、匠大塚春日部本店駐輪場を活用した「フジダナヒロバ」をはじめ、多様な地域連携活動を行っている。本年4月1日に地域連携統括センターを「地域連携センター」と改称し、より積極的に地域のニーズに合った連携活動を行う体制を整えた。

2019年度に本学が行った主な事業等は左記の通り。

○宮代キャンパス東側に3階建ての応用化学棟が完成した。1・2階は、学生実験室や各種分析室

○10月には、箱根登山鉄道株式会社より、7月に引退した鉄道車両モハ11形103号を譲り受け、工業技術博物館前の駐車場に設置した。博物館の開館時間中は公開され、一般の方でも見学が可能となっている。

○2019年度決算について

学校法人会計基準に基づいた財務諸表について説明する。「資金収支計算書」(別表1)は、当年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支

「事業活動収支計算書」(別表2)は、事業活動収支計算書は、大学の経営状態を明らかにするもので、企業会計における損益計算書に相当するもの。

①教育活動収支

大学の教育活動に係る収支状況を表す教育活動収支差額は3億8200万円の収入超過となった。主な内訳は、学生生徒等納付金6億8500万円、手数料は1億1500万円、経常費等補助金は5億7700万円であった。人件費は30億300万円、教育研究経費は28億7600万円、管

②教育活動外収支

財務活動などの教育活動以外の経常的な活動に係る収支状況を表す教育活動外収支差額は3億9000万円の支出超過となった。これは、学園プロジェクトによるもので、学費の支出超過となった。ここから学校法人の諸活動を永続的に維持するため、基本金組入額3億6500万円を差し引いた当年度収支差額は5億100万円の支出超過となった。また、基本金の取崩は、建物の取り壊しや教育研究用機器備品の除却によるものである。尚、翌年度繰越収支差額は3億2700万円とプラスになった。(別表5財務関係比率を参照)

三・2020年度予算について(資金収支計算書)(別表4)

2020年度予算は、収入・支出ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予算策定時とは大きく異なる状況となっているため、動向を見極め、適正に修正予算を組みながら予算管理に努めてゆく所存である。

四・むすび

コロナ禍の終息が見えない中、大学は一日も早く正常なキャンパスライフがわかるよう、安全面の徹底や教育環境の充実を図る。

そのためには、関係各位のご理解が不可欠であり、引き続きご支援を賜るようお願い申し上げます。(財務部)

# 実験・実習科目 対面授業を再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春学期前半は殆どの科目が遠隔授業に切り替えられた。6月15日以降、実験・実習科目については教育効果の観点から対面授業の併用が認められた。実施にあたっては少人数を原則とし、3密回避、咳エチケット奨励、ソーシャルディスタンス確保と



ロボティクス学科のロボット開発実験

いった感染防止対策の徹底が周知されている。

8月下旬、先進工学部ロボティクス学科の実習室を訪ねると、2年生対象のロボット開発実験の授業が行われていた。20名ほどの学生たちが間隔を空けて座り、工具を手

に小型ロボットを組み立て、パソコンと接続して制御プログラミングの調整を繰り返す。質問があれば手を挙げて指導教員や大学院生チューターに尋ね、作業の手ほどきを受けていた。こうした光景は、やはり対面授業ならではの。学生の一人は「友達や先生と直接話した。



教育革新シンポジウムでは、評価の高い遠隔授業を全教員に紹介

ながら実際に手を使って作業するのは楽しいし、理解も早い。何より、目の前でロボットが思った通りに動く達成感がある」と笑顔で話してく

秋学期に入る対面に移行する科目が徐々に増えてきた。一方で、並行して実施されている遠隔授業についても日々改善が図られている。学修の進捗に応じた対面による補習、動画配信型やライブ配信型授業の拡充、全教員対象の研修などを実施。今後も教職員一同、学生の安全を第一に考えながら、教育の質確保に向けて全力で取り組んでいく。

(別表1) 資金収支計算書 単位: 千円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	5,970,965	6,085,483	△ 114,518
手数料収入	69,980	114,896	△ 44,916
寄付金収入	71,800	74,966	△ 3,166
補助金収入	477,000	578,562	△ 101,562
付随事業・収益事業収入	47,340	99,802	△ 52,462
受取利息・配当金収入	102,035	109,772	△ 7,737
資産売却収入			
雑収入	125,814	137,887	△ 12,073
借入金等収入			
前受金収入	2,236,639	2,131,596	105,043
その他の収入	2,978,758	1,391,565	1,587,193
資金収支調整勘定	△ 2,193,321	△ 2,303,247	109,926
前年度繰越支払資金	5,510,282	5,510,282	
収入の部合計	15,397,293	13,931,565	1,465,728
支出の部			
人件費支出	3,139,157	3,017,275	121,882
教育研究費支出	1,849,692	1,705,145	144,547
管理経費支出	890,112	661,641	228,471
借入金等利息支出	35,411	35,409	2
借入金等返済支出	225,650	225,650	
施設関係支出	1,044,800	970,046	74,754
設備関係支出	503,075	338,534	164,541
資産運用支出	1,426,585	1,538,571	△ 111,986
その他の支出	644,548	673,173	△ 28,624
予備費	100,000	100,000	
資金支出調整勘定	△ 28,401	△ 137,988	109,587
翌年度繰越支払資金	5,566,663	4,904,110	662,554
支出の部合計	15,397,293	13,931,565	1,465,728

(別表4) 資金収支計算書 単位: 千円

科目	2020 (R2)	2019 (H31)	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	5,892,426	5,970,965	△ 78,539
手数料収入	66,450	69,980	△ 3,530
寄付金収入	71,300	71,800	△ 500
補助金収入	451,000	477,000	△ 26,000
付随事業・収益事業収入	57,390	47,340	10,050
受取利息・配当金収入	102,035	102,035	
資産売却収入			
雑収入	141,759	125,814	15,945
借入金等収入			
前受金収入	2,209,500	2,236,639	△ 27,139
その他の収入	882,549	2,978,758	△ 2,096,209
資金収支調整勘定	△ 2,131,596	△ 2,193,321	61,725
前年度繰越支払資金	4,904,110	5,510,282	△ 606,172
収入の部合計	12,646,923	15,397,293	△ 2,750,369
支出の部			
人件費支出	3,160,424	3,139,157	21,267
教育研究費支出	1,883,945	1,849,692	34,253
管理経費支出	1,021,074	890,112	130,962
借入金等利息支出	32,757	35,411	△ 2,654
借入金等返済支出	284,090	225,650	58,440
施設関係支出	335,000	1,044,800	△ 709,800
設備関係支出	329,384	503,075	△ 173,691
資産運用支出	419,500	1,426,585	△ 1,007,085
その他の支出	548,807	644,548	△ 95,742
(予備費)	100,000	100,000	
資金支出調整勘定	△ 22,115	△ 28,401	6,286
翌年度繰越支払資金	4,554,058	5,566,663	△ 1,012,605
支出の部合計	12,646,923	15,397,293	△ 2,750,369

(別表5) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	2019 (H31)	2018 (H30)	増減
補助金/事業活動収入	7.9%	5.7%	2.2%
人件費/経常収入	41.6%	45.6%	-4.0%
教育研究経費/経常収入	39.8%	36.8%	3.0%
管理経費/経常収入	11.1%	11.9%	-0.8%
借入金等利息/経常収入	0.5%	0.5%	0.0%
人件費/学生生徒等納付金	49.4%	49.9%	-0.5%

(別表2) 事業活動収支計算書 単位: 千円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金	5,970,965	6,085,483	△ 114,518
手数料	69,980	114,896	△ 44,916
寄付金	53,800	50,942	2,858
経常費等補助金	451,000	576,960	△ 125,960
付随事業収入	47,340	99,802	△ 52,462
雑収入	125,814	137,902	△ 12,088
教育活動外収入計	6,718,899	7,065,986	△ 347,087
支出の部			
人件費	3,139,157	3,003,542	135,615
教育研究費	2,964,692	2,876,051	88,641
管理経費	1,025,112	804,377	220,735
徴収不能額等			
教育活動外支出計	7,128,961	6,683,970	444,991
教育活動収支差額	△ 410,062	382,015	△ 792,077
特別収入			
受取利息・配当金	102,035	101,081	954
その他の教育活動外収入	58,000	58,000	
教育活動外収入計	160,035	159,081	954
特別支出			
借入金等利息	35,411	35,409	2
その他の教育活動外支出	524,850	522,979	1,871
教育活動外支出計	560,261	558,389	1,872
教育活動外収支差額	△ 400,226	△ 399,308	△ 918
経常収支差額	△ 810,288	△ 17,292	△ 792,996
特別収入			
資産売却	44,000	52,786	△ 8,786
その他の特別収入	44,000	52,786	△ 8,786
特別収入計	88,000	105,572	△ 17,572
特別支出			
資産処分	60,000	114,550	△ 54,550
その他の特別支出	60,000	57,381	2,619
特別支出計	120,000	171,931	△ 51,931
特別収支差額	△ 32,000	△ 66,359	△ 34,359
(予備費)	100,000	100,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 926,288	△ 136,437	△ 789,851
基本金組入額合計	△ 830,650	△ 365,000	△ 465,650
当年度収支差額	△ 1,756,938	△ 501,437	△ 1,255,501
前年度繰越収支差額	110,708	110,708	
基本金取崩額		17,958	△ 717,958
翌年度繰越収支差額	△ 1,646,230	327,229	△ 1,973,459
事業活動収入計	6,922,934	7,277,853	△ 354,919
事業活動支出計	7,849,222	7,414,290	434,932
経常収入(教育活動外収入計+教育活動外収入計)	6,878,934	7,225,067	△ 346,133

(別表3) 貸借対照表 単位: 千円

科目	2019 (H31)	2018 (H30)	増減
資産の部			
固定資産	45,555,222	49,074,673	△ 292,593
有形固定資産	24,463,508	24,575,209	△ 111,701
特定資産	24,765,332	24,409,554	355,778
その他の固定資産	66,425	89,910	△ 23,485
流動資産	5,025,108	5,666,934	△ 641,826
合計	54,320,374	54,741,607	△ 421,233
負債の部			
固定負債	5,361,565	5,654,050	△ 292,485
流動負債	3,076,458	3,068,769	7,689
合計	8,438,023	8,722,819	△ 284,796
純資産の部			
基本金	45,555,122	45,908,079	△ 352,958
翌年度繰越収支差額	327,229	110,708	216,521
合計	45,882,351	46,018,788	△ 136,437
負債及び純資産の部合計	54,320,374	54,741,607	△ 421,233

※注: 千円単位等で表示する際に単位未満を四捨五入しているため、端数調整のための差異が生じる場合があります。



# 埼玉県川口市と連携 電動車両の無人走行実験

ロボティクス学科の鈴木宏典教授は昨年度より内閣府の未来技術社会実装事業に参画。埼玉県川口市と連携し「先端技術体験がもたらす地域振興と人材育成および公共交通不便地域の解消」をテーマにパーソナルモビリティ（PM）活用の実証実験を進めている。PMとは一人乗りの超小型電動車両。鈴木教授はこれに自動運転機能を搭載し、同市公園内にて走行実験を行いながら、プログラムの改良を重ねている。7～9月に予備実験を終え、10～11月にかけて本実験を実施している。



自動運転PMと鈴木教授

# オリジナルフェイスシールドを製作

## 特別支援学校など福祉の現場で活用

ロボティクス学科の榎橋康博准教授は飛沫防止用フェイスシールドが福祉の現場で不足している事態を憂慮し、オープンソースの原型を改良してオリジナル版を設計。学内での協力を得ながら2511個を製作、学内外に配布した。



フェイスシールドを着用して実習作業をおこなう学生

透明シートを支えるブリッジは医療関係者の助言を反映して額部分の隙間を広げて通気性を向上させることで息苦しさや熱のこもりを軽減させ、さらにフィット感を損なわずに小型の3Dプリンタでも製作可能な形状とされた。同学科の3Dプリンタ8台とスチューデントラボの1台とを5月から8月初旬まで昼夜稼働させ、同ラボにおいて職員と3525個製作された。これまでに埼玉県内の特別支援学校を中心に他の福祉施設や公共施設に計

1670個、学内の対面授業の教室や事務局などに計841個を配布し、現場で活用されている。10月13日には埼玉県特別支援学校長会の佐野貴仁会長が来学し、成田学長に感謝状が贈られた。

## 地域の課題解決に向けた勉強会を開催

本学は春日部市と包括的連携協定を締結しているが、同市と本学の地域連携活動をさらに活性化させるべく、8月28日に日本工業大学と春日部市の共催で地域連携に関する勉強会を開催した。



佐々木教授の司会進行により、活動報告などが行われた

今回は匠大塚本店周辺の空間活用をテーマとし、佐々木誠教

呼び出しバス停まで自動運転で移動、自動運転バスに乗りし目的地付近のバス停で下車、目的地までPMで移動といった無人走行システムの構築により、地域交通の改善を

## インタラクティブアートの 子供向けイベント

8月30日に越谷市立児童館コスモスで、情報工学科大山研究室の学生と、情報メディア工学科のフィジカルコンピューティング工房の学生がインタラクティブアートのイベントを開催した。同児童館には科学館が併設されており、今回のイベントは「インタラクティブアートで未来の遊びをしよう」をテーマに、子供から大人まで楽しめる参加型イベントであった。学生達は自分達で制作した六つのインタラクティブアート作品を展示し、子供達が体を動かしながら楽しんで学習できるようなイベントに作り上げた。



体を動かしながらアート作品を楽しむ子供たち

当日は近隣から多くの子供達が集まり、学生達は3密の回避等コロナ対策や熱中症対策に気を配りつつ、実演も交えながら子供達に遊び方のレクチャーを行った。

チャーターを行なった。インタラクティブアートは、鑑賞するだけでなく観客が参加することで完成する双方向的な芸術の形態であり、本学では大山麻里教授をはじめ情報メディア工学科を中心に教育・研究・制作が行われている。学生たちは今回の経験を通過して、作品の向上・改良や今後の研究活動に活かしていくとのことである。

## 小学校の学童保育で 出張理科実験教室

例年、夏休み期間中に小中学生対象の各種理科・科学教室を学内で開催し、定員を超える参加者を集め、好評を得ている。



幸手市児童館で万華鏡の製作を指導する佐藤教授

今年度はコロナ感染拡大防止、熱中症対策に配慮し、近隣小学校における学童保育での出張実験教室という形で実施された。8月17日に地元宮代町の笠原小学校、19日に百間小学校、東小学校の学童保

育において「液体窒素で大実験」をテーマとした理科実験教室が各会場とも1日に2回実施され、各回約30名の児童が参加した。共通教育学群の佐藤彰教授が超低温の液体窒素を使って多種多様な実験を見せながら、熱や温度について解説した。児童たちは安全に配慮しながら凍った野菜や果物に触る体験をし、最後に霧の大噴火を見ると驚きの声を上げていた。

8月22日には幸手市児童館で「光の実験と万華鏡作り」を実施し、10組の親子が参加した。佐藤教授が鏡やレーザー光を用いた光の反射・屈折や

## 防災訓練を実施

9月15日、地震発生を想定した防災訓練が宮代キャンパスにおいて実施された。災害等が発生した場合に迅速かつ的確に所定の行動ができるよう、各人のスキルアップを目的としている。今年度はコロナ禍の実施とあって学生は参加せず、訓練内容についても感染拡大防止に配慮した範囲に留められた。



避難誘導、報告・点呼など各班で訓練内容を確認

当日の朝9時、宮代町内で震度6強の揺れを観測したとの想定でシェイクアウト訓練が行われ、参加者全員が一斉に机の下に隠れるなど身を守る行動をとった。続いて校内一斉放送により避難指示が出されると、参加者は避難場所のグラウンドへと移動、点呼が行われた。その後、実際に消火器を使用した初期消火訓練も実施された。締めくくりに講師からは宮代消防署の担当者から「避難の際、扉を閉めた方が酸素の供給が途絶え、炎の広がりが遅くなる」とアドバースがあった。

## 事務局の移動と 本館改修工事

本学では昨年より、学生サービスの向上を目的として本館大学事務局各部署の配置見直しを進めており、9月に移動が完了した。学生支援課が本館2階から1階のエントランス脇に移動したのを始め、学生が直接関わる部署の殆どが本館1階に集約され、より効率的なワンストップサービスが実現した。



落ち着いたイメージに変わった1階廊下

## 町より 宮代 226号



## この一瞬を キリトリ!

町の公式ツイッター限定で宮代の秋と冬をテーマに写真コンテストを開催しています。町の風景やイベント、食や歴史など「宮代町のいいところ」を切り取った写真を募集します。入賞作品は町お持ちしています!

広報紙やホームページなど様々な場面で紹介します。町のアカウントをフォローし、撮影日・撮影場所・作品名を記載し、「#みやしろまち」を付けて投稿!これで応募となります。秋部門は11月末まで、冬部門は2月末まで。宮代町の学生生活を切り取ったその一瞬をお待ちしています!

## 人事異動

- 【任用】(9月1日付)
  - ◆甲斐正也事務職員(総務部付)
- 【昇任】(10月1日付)
  - ◆瀧澤英准教授(機械工学科) ↓ 教授に昇任
  - ◆竹村暢康准教授(電気電子通信工学科) ↓ 教授に昇任
  - ◆勝間田仁准教授(情報メディア工学科) ↓ 教授に昇任
  - ◆清水博幸助教(電気電子通信工学科) ↓ 准教授に昇任
  - ◆清水博幸助教(電気電子通信工学科) ↓ 准教授に昇任
  - ◆基幹工学部長 吉野秀明教授
  - ◆留学生別科主任 八木田浩史教授
- 【取止め】225号掲載より変更
  - ◆鈴木宏典教授(ロボティクス学科) / 出張先IIフランス(8/26~8/31)
  - ◆目的II第2回ヒューマンインタラクションと新創成技術・人工知能国際会議での研究発表

## 国外出張